

「欲望との戦い。」 ヤコブ 4 章 1～10 節

トランプ大統領とプーチン大統領の会談は、今日の聖句のようなものでした。戦争は、指導者同士のメンツと利害から起こり、民衆は常に被害者です。8月15日は終戦記念日でしたが、本来は敗戦の日です。

日本人は、広島や長崎に原爆を落とされた被害者だけでも、彼らを赦していると自分たちの寛容性を誇っています。しかし、日本は戦争の当事者であり、7月26日のポツダム宣言の無条件降伏を拒んでいません。

韓国や中国は、帝国主義日本に強引に占領され略奪された国であり、戦争の当事者ではなく被害者です。これは、独裁国家ロシアに侵略されているウクライナと同じような状況です。一方的に略奪を受けて親族が死んだりした場合の恨みや怨念、そして敵意はなかなか消えるものではありません。原爆の被害という報道ばかりを見て、日本が侵略して行った国々の人々のことは全く関知していないのに、日本人のマスコミによる洗脳を感じました。戦争を始めたのは日本であり、帝国日本の略奪的繁栄を求めた結果としての敗北であり、国民も韓国も中国も、同じような被害者なのに、日本国民を味方に付けての敗戦ではなく終戦にしてしまったのです。

人の世は、「戦いや争いがある」(二)のです。だからといって、人の言いなりになったり、逃げたり、避けたりしては、略奪され、敗北してしまいます。聖書は、「あなたがたのものにならないのは、あなたがたが願わないからです。」(三)と言います。実際、「欲をかくとろくなことはない。」と無欲を人生の指針とする人は多く、仏教の教えなどがそうかもしれません。しかし、実際には指導者に搾取され、利用されるのがそういう人です。戦争に際しての日本人はそのようなもので、戦後も「人に迷惑を掛けず善良に生きる」ことを旨として政治経済に利用されています。

人の願いは平和ですが、近くの人同士でさえ、平和は難しいものです。「あなたがたのからだの中で戦う欲望が原因ではありませんか。」(二)。イエス様は、「わたしが来たのは地上に平和をもたらすためだ、と思っ

この時は、確かにカナンの住民にとっては略奪行為ですが、それをしてなければイスラエルの民は飢え死にします。この理由としては、「わたしがアブラハム、イサク、ヤコブに『あなたの子孫に与える』と誓った地はこれである。」(申命記34・2)との神の事前の約束を果たす行為として正当化されます。

つまり、聖戦です。しかし、聖戦として敵を殺戮する思考は、現代の健全な信仰者には持ち合わせられません。戦争に信仰者が参加せざるを得ない場合には、国と家族を守るという覚悟がなければなりません。日本は、これまで国を守るためというよりも、他国との利害の為に戦争をしてきました。そして、それを助長してきたのは国民です。政治に無関心であれば、指導者は戦争に向けて動き出します。

信仰を真摯に持つと、人よりも神の思いと義を優先せざるを得なくなり妥協できなくなります。「地の上で、平和がみこころにかなう人々にあるように。」(ルカ2・14)と、信仰者の心に中に形成する平安に限定せざるを得ないようです。「主は私のたましいを敵の挑戦から平和のうちに贖い出してください。私と争う者が多いから。」(詩55・18)。永遠の平和は神の国においてしか実現せず、その神の国に行ける者は、この地上の生活で御心に適う平安を身に着けた人となります。

「願う」ことは、人間にとって大事なことです。それをせずに「神に委ねる」という怠惰な道を歩もうとする信仰者は多いものです。「世の友となりたいと思ったら、その人は自分を神の敵としているのです。」(4)と警告されています。聖書は、「願っても受けられないのは、自分の快樂のために使おうとして、悪い動機で願うからです。」(5)と教えています。神に求めず、「悪い動機で求める」(3)と争いになります。

「神に従う。」(7)、「神に近づく」(8)、ことは、社会で生きる者にとつては、生殺与奪の選択肢です。どうしたら良いか、「苦しみなさい。悲しみなさい。泣きなさい。」(9)という葛藤が必要です。この世に迎合したら、いのちを失います。「主の御前でへりくだりなさい。」(10)自分の思う通りではなく、神の導きを求め、たとえ損であつても、都合が悪くても従うへりくだりが大事です。

1. 信仰に生きるキリストの弟子の養成

主の弟子は状況に左右されず聖霊に聞き従い、神を信じ人を信じて人々の救いと解放をもたらす。十字架に死んで神と共に生きるとは、自分と人々の罪からくる咎を覚悟し信仰と希望と愛とを持って福音の祝福の中に生きることである。キリストの弟子の養成こそ教会の使命である。

2. 真理と祈りと讃美に満ちた信仰生活の指導

聖書の教え、真理は人を自由にする。祈りは問題や悩みを解決し、神の御心を確認する。讃美は癒しと喜びと力を与える。教会はそれらを教え指導し、互いの交わりの中で模範を造り出していく。

3. キリストを頭として愛によって結び合わされた共同体の形成

教会には多種多様な人々が神によってこの世から召し出されてくる。この信者を整え、神への奉仕という使命を果たすように導くには、キリストの弟子として十字架を負い主に従う指導者層が確立されなければならない。整えられ愛し合い一致した教会こそ神の栄光が現され成長する。

4. 隣人に対する愛に基づいた執り成しと伝道の実践

神を愛する人は人をも愛し、行いを伴う信仰を持つ。真理を知らず罪と咎によって苦しんでいる人々を愛し、執り成し、福音を伝えることによってこそクリスチャンは成長し、祝福される。

5. 地域と社会に貢献する魅力的な教会員の歩みと家族形成

教会と教会員の活動・事業・啓発運動を展開し、社会に影響を与えながら、同時に愛し合う家族を形成し、接する人々に福音を現していくことが、日本のリバイバルに必要であると私たちは信じる。

今週の聖書

ヤコブ 4:1 何が原因で、あなたがたの間に戦いや争いがあるのでしょうか。あなたがたのからだの中で戦う欲望が原因ではありませんか。

4:2 あなたがたは、ほしがっても自分のものにならないと、人殺しをするのです。うらやんでも手に入れることができないと、争ったり、戦ったりするのです。あなたがたのものにならないのは、あなたがたが願わないからです。

4:3 願っても受けられないのは、自分の快樂のために使おうとして、悪い動機で願うからです。

4:4 貞操のない人たち。世を愛することは神に敵することであることがわからないのですか。世の友になりたいと思ったら、その人は自分を神の敵としているのです。

4:5 それとも、「神は、私たちのうちに住まわせた御霊を、ねたむほどに慕っておられる」という聖書のことばが、無意味だと思うのですか。

4:6 しかし、神は、さらに豊かな恵みを与えてくださいます。ですから、こう言われています。「神は、高ぶる者を退け、へりくだる者に恵みをお授けになる。」

4:7 ですから、神に従いなさい。そして、悪魔に立ち向かいなさい。そうすれば、悪魔はあなたがたから逃げ去ります。

4:8 神に近づきなさい。そうすれば、神はあなたがたに近づいてくださいます。罪ある人たち。手を洗いきよめなさい。二心の人たち。心を清くしなさい。

4:9 あなたがたは、苦しみなさい。悲しみなさい。泣きなさい。あなたがたの笑いを悲しみに、喜びを憂いに変えなさい。

4:10 主の御前でへりくだりなさい。そうすれば、主があなたがたを高くしてくださいます。

雅各書 4

1 你們中間的衝突是從哪裡來的？爭執是從哪裡來的？難道不是從你們身體各部分中交戰的私欲而來的嗎？

2 你們渴望而不能擁有，就殺人；你們嫉妒而不能獲得，就爭鬥、作戰。你們不能擁有，是因為你們不求；

3 你們求也不能得到，是因為你們求的動機不對，為了要花費在自己的私欲上。

4 你們這些淫亂的人哪！難道你們不知道，與世界為友，就是與神為敵嗎？所以，如果有人想要和世界做朋友，他就成了神的仇敵！

5 或者，你們以為經上所說的「神使聖靈住在我們裡面，他愛我們到嫉妒的地步」是空話嗎？

6 不過他賜下更大的恩典，所以經上說：「神抵擋驕傲的人，賜恩典給謙卑的人。」

7 因此，你們要服從神，要抵擋魔鬼，魔鬼就會逃避你們。

8 你們要親近神，神就會親近你們。你們這些罪人哪，當使你們的手潔淨！心懷二意的人哪，當使你們的心純潔！

9 你們應當難過、悲傷、痛哭；把你們的歡笑變為悲傷，快樂變為憂悶。

10 你們當在主面前降卑，他就會高舉你們。